

第7回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会

教育活動・学校事務部会

日時：令和6年5月20日（月） 総会終了後

場所：岩村コミュニティーセンター 1階和室

1. 部会長・副部会長の選出

部会長：

副部会長：

2. 部会長あいさつ

3. 自己紹介

4. 課題整理シートの確認

5. 次回の教育活動・学校事務部会について

(1) 開催日

(2) 会 場

(3) 議 題

恵那南地区統合中学校準備委員会名簿（教育活動・学校事務部会）

役職	氏名
串原地域自治区会長	平林 道博
山岡学校運営協議会代表	石垣 寿子
明智中学校学校運営協議会代表	大嶋 達也
上矢作中学校学校運営協議会代表	夏目 裕行
山岡中学校PTA	近藤 晃幹
明智中学校PTA	藤田 みのり
串原中学校PTA	鈴木 真弓
上矢作中学校PTA	小林 康予
岩邑中学校校長	片桐 宣伸
山岡中学校校長	後藤 琢磨
上矢作中学校校長	深谷 友康
岩邑小学校PTA	各務 美穂
山岡小学校PTA	加藤 淳
明智小学校PTA	近松 彩子
串原小学校PTA	安藤 智和
上矢作小学校PTA	松田 正
岩邑小学校校長	梶屋 明広
明智小学校校長	松井 克仁
岩村こども園保護者会	小栗 史也
山岡こども園保護者会	三浦 祐揮
明智こども園保護者会	藤田 航平
串原こども園保護者会	榎本 草平
上矢作こども園保護者会	鈴木 直樹
山岡こども園園長	藤野 貴子
明智こども園園長	増田 尚子

事務局

学校統合準備室主任主査	郷田 賢
学校統合準備室主任主査	各務 恵美
学校統合準備室主査	小木曾健太
学校統合準備室主査	岩島 慶尚
学校統合準備室主査	小島光太郎
学校統合準備室	三宅 勝義

課題整理シート

		担当部会	教育活動・学校事務部会
番号	16	課題	教育課程等、教育内容に関すること
内容説明		統合校は、各校の特色ある教育活動を踏まえながら、学習指導要領に基づき、年間の教育課程、時間割を策定していなければなりません。	
協議事項 (決定に至るまでの事務フロー)		教育課程編成は、学校長の責任の下、編成を行うことになるものの、各学校で実施してきた総合的な学習の時間を中心とした地域と協力した教育活動については、各地域の意見を聞きながら、新しい学校の教育課程、教育内容の確認と策定を行う。 ・各学校の地域と関わる教育活動の現状の確認 ・新しい学校に取り入れることが可能な教育活動についての確認 ・総合的な学習の時間を中心とする地域と協力した教育活動の計画原案作成 ※事務的な事項については職員で実施し、適宜進捗を報告。 ・令和6年度以降の教科学習の内容の統一 ・1日の日課表の策定	
必要期間（推計）		2年半	
完了の目安		教科学習内容の統一、時間割、総合的な学習の時間の学習内容確定	
決定時期		令和8年3月	
必要となる事項		・恵那南地区の教務主任を中心とした教育課程・教育課程のすり合わせのための時間の確保と原案作成。 ・旧中学校での学びの期間がある統合時の3年生、2年生の教科の題材の重複の生じない配慮（本件は5年度中に決定）。 ・新中学校の具体的な教育計画（学校教育計画、年間行事予定、時間割等）については、協議事項の結果を踏まえ、令和8年1月頃より、関係職員で作成。	
その他		・具体的な教育課程の話が中心となる。 ・具体的な時間割や年間行事の日程については、令和8年3月となる。本部会で決める事柄と具体的な計画策定と切り分けておく必要がある。	
令和5年度に協議したこと		・「地域を知り、地域を愛する生徒」を育む教育活動について、部会よりアイデアを得た。	
令和6年度に協議すること		・学校を中心に教育課程の編成に向けた事務を行う中で、部会に進捗状況を報告するとともに、必要に応じて意見をうかがう。	

課題整理シート

			担当部会	教育活動・学校事務 部会
番号	17	課題	学校行事に関すること	
内容説明		統合校は、それぞれの地域の歴史や文化を尊重して、新たな伝統を作り上げていかなければなりません。学校行事はこれらのことを勘案して決定しなければなりません。		
協議事項 (決定に至るまでの 事務フロー)		教育課程編成に付随する学校行事は、学校長の責任の下に、編成を行うものの、各校の特色ある学校行事について、地域や保護者の願いも踏まえながら、新しい学校の大まかな行事について確認と策定を行う。 ・各学校の特色ある学校行事の確認 ・各校の特色ある学校行事の扱いについて ・体育大会、合唱祭等主となる行事の確定 ・修学旅行等の旅行的行事の確定		
必要期間（推計）		2年半		
完了の目安		令和8年度の主な学校行事の決定		
決定時期		令和8年3月		
必要となる事項		・恵那南地区の教務主任を中心とした行事のすり合わせのための時間の確保と原案作成。 ・旅行的な行事については、旧中学校での学びの期間がある統合時の3年生、2年生の行先の重複の生じない配慮（本件は5年度中に決定）。 ・新中学校の具体的な学校行事計画は、協議事項の結果を踏まえ、令和8年1月頃より、関係職員で作成		
その他		・地域とのかかわりを大切にしたい行事をどのようにしていくのかを考慮していく必要があります。 ・地域と関わることや旅行的な行事については、地域や保護者の方の意見も踏まえながら決定していく必要がある。		
令和5年度に協議したこと		・「地域を知り、地域を愛する生徒」を育む学校行事について、部会よりアイディアを得た。		
令和6年度に協議すること		・学校を中心に旅行的な行事を中心に統合校の学校行事の計画を立てていく中で、部会に進捗状況を報告するとともに、必要に応じて意見をうかがう。		

課題整理シート

			担当部会	教育活動・学校事務 部会
番号	18	課題	生徒会に関すること	
内容説明		統合を円滑に進めるために、統合開始時の生徒会・委員会の規約・組織体制及び役員配置、当面の活動計画を決めておく必要があります。また、各校の生徒会活動の交流に加え、生徒主体で生徒会の取り決めごとを決めていくことが必要です。		
協議事項 (決定に至るまでの 事務フロー)		生徒会に関すること（委員会・活動・伝統文化）については、こども主体で決めさせていただきたいため、適宜状況の報告とそこでのご意見をいただきたい。 ① 必要な活動の決め出し（アンケートの実施） ② 活動の整理 ③ 生徒会、委員会（活動）、生徒会・委員長決定方法の決め出し ④ 生徒会、委員会名、活動の周知 ⑤ 生徒会メンバーの決定		
必要期間（推計）		2 年半		
完了の目安		令和 8 年度の組織の決定		
決定時期		令和 8 年 3 月		
必要となる事項		・ 各学校における生徒会、委員会の組織図 ・ 各学校における生徒会、委員会活動の一覧 ・ 各学校における規約（あれば）		
その他		・ 学校の独自性（地域との関りがあるようなもの）があれば、どのように位置づけていくか検討が必要である。 ・ 活動は難しいが、ICT を活用し、統一できる部分は、統合前に、少しずつ進めていく。 ・ 委員会、活動の決め出しについては、アンケート、オンライン会議等を実施して、生徒の意見を取り入れられるようにしていく。		
令和 5 年度に協議したこと		・ 令和 6 年度の生徒会の交流に関する活動計画について部会へ報告を行った。		
令和 6 年度に協議すること		・ WEB を中心とした交流等の様子について部会に報告するとともに、必要に応じて意見をうかがう。		

課題整理シート

			担当部会	教育活動・学校事務 部会
番号	19	課題	交流事業に関すること	
内容説明		統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要です。特に統合前 2 年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む必要があります。		
協議事項 (決定に至るまでの 事務フロー)		それぞれの学校での実態、現在の交流事業をもとに、実施するとよい交流事業とその方法について検討し決定する。 ① 合同で行える行事・交流事業の精選 ② 日程調整（バスの手配・会場の確認） ③ 交流事業の細案、学校への周知、役割分担 ④ 交流事業の実施 ⑤ 交流授業の振り返り、改善点を踏まえた次年度の計画		
必要期間（推計）		1 年半		
完了の目安		交流事業の実施		
決定時期		令和 7 年 3 月 （最終）		
必要となる事項		・ 各学校で行われている行事の詳細 ・ 各学校の総合的な学習の詳細 ・ 各学校の年間行事予定 ・ 各学校で行われている交流事業の詳細 ・ 毎年予算の決定を 9 月、活動の最終決定を 3 月に行う。 ・ 小学校での交流事業の検討		
その他		・ 経費が掛かることがあれば、事前に予算の確保が必要 ・ 現在行われている交流事業は継続していき、可能なものについては、集会形式で実施できるようにしていく。		
令和 5 年度に 協議したこと		・ 部会において、交流事業のアイディアを出し、そのアイディアをもとに、校長会等で交流事業の具体的計画を策定した。		
令和 6 年度に 協議すること		・ 交流事業の進捗状況を報告するとともに、必要に応じて意見をうかがう。		

課題整理シート

			担当部会	教育活動・学校事務 部会
番号	20	課題	学校備品、教材備品の整理に関すること	
内容説明		既存の備品・教材の確認を行い、統合時に必要なものの予算を計上する必要があります。 また、不要となる備品の処分方法（有効活用）も検討します。 例）地域で利用できるものがあれば、地域へ譲渡するなど 学校職員が中心となって進めますが、必要に応じて部会でも検討を行います。		
協議事項 （決定に至るまでの 事務フロー）		不要備品の処分方法と、新たに購入する備品を検討し決定する。 1．各学校で保有している備品のリストアップ（リース品含む） 2．既存の備品の検討 ① 統合校で使用する物、他の学校で使用する物、公共施設で使用する物、不要となる物の選別 ② 統合校で使用する備品の移動方法・時期の決定 ③ <u>不要備品の処分方法を検討し決定する</u> 2．新たに準備する備品の検討 ① <u>新たに購入する備品を検討し決定する</u> ② 購入方法、費用を決定する		
必要期間（推計）		1年6ヶ月		
完了の目安		整理方針の決定		
決定時期		令和6年9月		
必要となる事項		・ 備品の検討にあたっては、校舎の改築や学級数などの情報が必要となります。 ・ 備品を新調する場合、予算を確保するため令和6年秋ごろまでに決定する必要があります。 ・ 校舎の改修と連携して備品の配置を検討する必要があります。		
その他		・ 処分の方法は、公平性・収益性・手間などを総合的に考えて検討する必要があります。 ・ 処分方法の検討については、急いで処分する必要がなければ、統合後に行っても問題ないと考えられます。		
令和5年度に 協議したこと		・ 今後の計画について報告を行った。		
令和6年度に 協議すること		・ 不要備品の処分方法を検討 ・ 新たに購入する備品を検討（協議が必要な場合に限る）		

課題整理シート

			担当部会	教育活動・学校事務 部会
番号	21	課題	学校図書に関すること	
内容説明		図書の保管状況を確認し、新たな学校へどれだけの図書を集めるのか検討する必要があります。 保管しきれない図書は、恵那図書館、地域の図書館へ移管するなどの手続きが必要です。		
協議事項 (決定に至るまでの 事務フロー)		・新中学校の図書室のコンセプト（どのようなことを重視し、どのような雰囲気の図書室を目指すのか） ①図書室のコンセプト案を各委員より出し合う。 ②基本となるコンセプトをまとめる。 このコンセプト決定後、図書室の設計やレイアウト、蔵書の選定を進めていくことになる。（以下「必要となる事項」へ進む）		
必要期間（推計）		およそ1年6か月		
完了の目安		整理方針の決定		
決定時期		令和7年3月		
必要となる事項		①現在の各中学校の蔵書等の状況を確認する。 ②新中学校の図書室のコンセプト（どのようなことを重視し、どのような雰囲気の図書室を目指すのか）を決定する。 ③新中学校の図書室で、全体で何冊ぐらい本を置くのかという蔵書の全体冊数を決定する。 ④全体の冊数の中で、各分類の蔵書冊数を決定する。 ⑤各学校の蔵書から、どれだけ新中学校に移管するかを決定する。（地域書籍や史料等への配慮） ⑥新中学校へ移管しない図書について、どのようにするかを決定する。（他の図書館への移管または廃棄等） ⑦新中学校の図書室の書棚等のレイアウトを決定する。 ⑧移管や廃棄に関わる各種手続きを行う。		
その他				
令和5年度に 協議したこと		・ 図書館改築の設計に反映させていくことを話し合い、その結果をもとに、現行図書館とランチルームを改築することを理事会へ提案した。		
令和6年度に 協議すること		・ 現行図書館とランチルームの階段配置等の改築の計画策定を受け、内部の配置等をどうするのかを話し合う。		

課題整理シート

			担当部会	教育活動・学校事務 部会
番号	22	課題	保存文書等の整理に関すること	
内容説明		学校の歴史資料、各種寄贈物、賞状やトロフィー等の保存・.展示方針を検討する必要があります。 各学校の文書の保管状況を確認し、新たな学校へ引き継ぐ文書を検討する必要があります。		
協議事項 (決定に至るまでの 事務フロー)		学校の歴史資料、寄贈物等の保存について、保存又は処分・展示方法を検討し決定する。 ① 各学校の対象品物のリストアップ ② <u>保存・展示方針の決定</u> ③ 保存・展示の実施 学校の文書の移動や保管方法を決定する ※事務的な事項となるため職員で実施し、適宜進捗を報告。 ① 文書の選別（統合校に移す、移さない、廃棄する文書など） ② 保管場所の確認（不足する場合は保管場所の確保） ③ 保管場所の決定（統合校に移す、既設校舎で廃棄期限まで保管するなど） ④ 移動時期の決定		
必要期間（推計）		2年		
完了の目安		保存文書等の方法の決定		
決定時期		令和7年3月		
必要となる事項		・ 保管場所の確保に費用が発生する場合、予算を確保する必要があります。 あるため令和6年秋ごろまでに決定する必要があります。 ・ 校舎の改修と連携して保管場所の検討を行う必要があります。		
その他				
令和5年度に 協議したこと		・ 今後の計画について報告を行った。		
令和6年度に 協議すること		・ 5校の歴史資料、寄贈物等の保存・展示方針の検討をする。		

課題整理シート

			担当部会	教育活動・学校事務 部会
番号	23	課題	予算計画に関すること	
内容説明		統合校は、各校の予算事務・徴収方法を踏まえながら、恵那市市立小中学校共同学校事務室に指導を仰ぎ、旅行積立金額、学校徴収金（学習に関する）金額、徴収方法、金融機関等を決定していく必要があります。		
協議事項 (決定に至るまでの 事務フロー)		①旅行積立金、学校徴収金（学習に関する）、金融機関の決定し、R8年度の会計計画を作成する。 ②そのための事務として ・各中学校の旅行積立金、学校徴収金（学習に関する）を調査し、適正な金額（一人当たりの集金額、年間集金額）を算出する。（各学年の行事等を踏まえて） ・R7年度各中学校1・2年生の収支決算を見込み、一人当たりの残金を算出（返金、徴収等）する。 ・R7年3月に残高を新通帳に移す。 ・各中学校の金融機関を調査後、金融機関を決定し準備を進める。 ・各中学校の会計規則に基づく会計規則の制定を行う。 ・保護者説明の準備。 ・事務引継ぎ（口座解約、口座開設など）。		
必要期間（推計）		およそ2年		
完了の目安		旅行積立金、学校徴収金（学習に関する）、金融機関の決定		
決定時期		令和7年3月		
必要となる事項		・R6年度までに、R7年度の会計計画、実施。 ・R7年度、入学説明会で新1年生の口座開設等準備。		
その他		・恵那市市立小中学校共同学校事務室と連携する。		
令和5年度に協議したこと		・今後の計画について報告を行った。		
令和6年度に協議すること		・学校徴収金を中心に学校での検討状況を報告するとともに、必要に応じて意見をうかがう。		